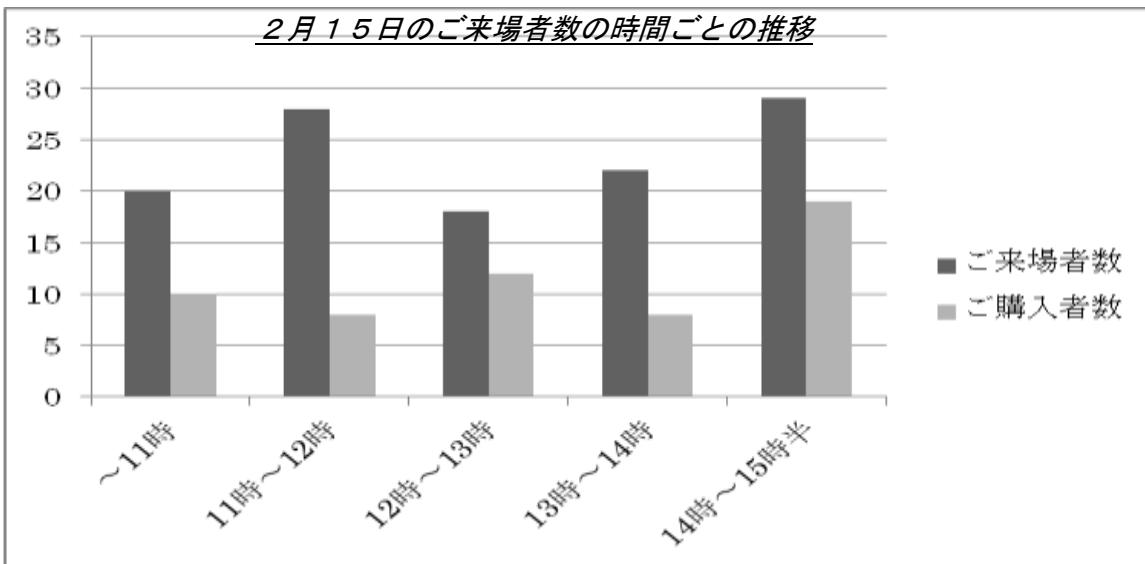


今年度第10回目の「授産品バザー」は2月15日（水）に「旧ゆめ広場」にて開催いたしました。今回のバザーでは今後の活動の参考にさせていただくために、ご来場者数の調査をさせていただきました。この日は一日117名の方のご来場がありました。



販売額は 「旧ゆめ広場」 売り上げ：40,860円 「協力店」 売り上げ：5,570円  
総売り上げ額：46,430円

## 第9回ボランティアフェスタに参加して

2月26日（日）九州共立大学『自由ヶ丘会館』で、ボランティアフェスタが開催されました。

私たち「学園&地域交流ネットワーク」は、活動紹介コーナーに『折尾駅周辺タウンガイド・改訂版』の抜粋内容や、約3年間続いている『授産品バザー』を展示紹介すると共に、『タウンガイド』と『フレスター第86号（毎月発行の情報紙）』を配布しました。

当会は、3月20日（火・祝）に「折尾駅周辺の街歩き～観光サポーター養成講座～」、21日（水）に「産品バザー」を開催します。その紹介を、ご来場の方に直接説明をすることができました。

13時からのオープニングでは、「おやじフレーバーズ」によるKARAや西条秀樹のYMCAなどのダンスに、会場にいる人が飛び入りで壇上に上がり、会場は一気に大盛り上がりました。フレーバーズの最年長者は60歳で、とても元気な方でした。私も今年で60歳、がんばろうと思いました。

基調講演は、宮崎正人氏（東筑紫短期大学元教授）の「私たちが求めているもの～65歳になって思うこと～」で、人は人との関係で生きている。相手が変わるのでなく自分が変わることが重要。「持つ」幸せよりも「ある」ということの幸せを大切になどの話があり、人との関係・絆が大事だと感じました。

活動発表は、永犬丸西校区社会福祉協議会のウエルクラブが、地域での人とのつながりを大切にするために、一人暮らしの方を子供たちが訪ねてお話をしたりゴミ出しなどしており、これは遠く離れた家族の方にも喜ばれているとのことでした。

傾聴ボランティアは、高齢者福祉施設を主な活動場所に相手のお話に耳を傾け心をこめて聴くボランティア活動をしているそうです。お話をただ聴くことは優しいように感じますが、とても難しい事だと思います。

最後は、九州共立大学経済学部の学生が、黒崎に「一夜城」を制作した発表でした。リーダーは、経済学部3年。八幡西区役所から「一夜城」制作依頼があり、約50名の学生が交代で作ったそうです。お城は、縦15m×横18m、ベニア板約120枚、作業工程では大変苦労をしたことと思います。

今回は『絆』がテーマで、サブタイトルの「つなごう笑顔を、むすぼう心を」の言葉通り、人と人の絆がつながった、とても有意義なシンポジウムでした。 (O.K)